



2018-19 週報 パワー浜松ロータリークラブ

「能動的に参加し、お互いを高めあおう」

RI 会長 バリー・ラッソ / 第 2620 地区がバナー 星野義忠 / 会長 鷲津有一 / 幹事 鈴木一広
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークアクトシティホテル浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



第731回例会8月28日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：小林昭次 比バー・ジョセフ・マティー ■点鐘：鷲津有一
- 週報：村木則予
- ロータリーソング：「希望のエネルギー」
- ゲスト：東京五輪選手、元読売ジャイアンツのトレーニングコーチ 鈴木章介様
米山記念奨学生 肖 英華さん

出席報告/スマイル報告

会員数 78 名 (内出席免除会員 2 名)
出席数 61 名 出席率 80.26%
前々回出席率 82.89%

- ① ゴルフ同好会 ②鷲津有一さん
- ③ 金山土洲さん ④会員選考・クラブ研修委員
- ⑤山下俊彦さん

会長挨拶

おはようございます。

本日、卓話をして頂ける鈴木章介さんは、私がどうしてもお願いして会員選考・クラブ研修委員会の枠を頂いてお招きしました。



章介さんとは、あるゴルフの会で一緒させて頂いており、11 月にはゴルフ&忘年会が行われます。その歓談中に聞かせて頂くジャイアンツコーチ時代の話や、最近のドラフト裏話など、とても興味深い内容で、これを私だけが聞くのではもったいないと思い、例会での卓話を打診したところ快くお受けいただき、本日に至った次第です。

ゴルフでは、何度か同じ組でプレーさせて頂いており、その中でのエピソードを紹介させて頂きます。昨年 6 月 17 日、快晴で気温 27℃の汗ばむ陽気の中、浜名湖カントリークラブでプレーした際のことです。ラウンド中、結構暑いですねと言いながら、私や同伴者が水分をとりながら汗を拭いているとき、本当に暑いねと言いながら水分をとった様子がない章介さんに尋ねたところ、「僕はコースに出たら水分はとらないから」との言葉が返ってきました。キャディさんを含め一同が「えっ」と絶句していると、陸上をやっていた頃から、運動中は水分補給を禁じられていたから、それが私の常識だと仰いました。それは昔の常識であって、今は非常識ですよとみんなでお願いし、プレー中に水分補給をして頂くようにしました。

幹事報告

- ・ 9 月 15 日 浜松城公園清掃奉仕活動の際、ポリオ撲滅募金活動実施のお願い
- ・ 11 月 23 日 天浜線沿線 花のリレープロジェクト開催決定。各ロータリーから 4,5 名の参加者募集
- ・ 米山梅吉記念館からの館報届く



議 事

プロ野球臨時トレーニングコーチとして平成元年～4 年まで春・秋のキャンプを指導し、セ・リーグ 2 回、日本シリーズ 1 回優勝を導いた鈴木章介さんをお招きし、「私の歩んだ道」と題して講演をいただきました。詳細は裏面をご参照ください。

委員会報告

- ・ 財団プログラム部会：防潮堤松の植樹にご協力いただき児童福祉施設 和光寮に挨拶。
- ・ ゴルフ同好会：第 62 回青空例会報告/第 124 回静岡第 5 グループ親睦ゴルフ会 (10/8) 開催告知

ハッピーバースデー

- 7/22 奥山恵理子さん 7/28 鷲津有一さん
- 8/9 稲野清治さん 8/13 寺田洋平さん
- 8/16 松島弘明さん 8/16 豊田充孝さん
- 8/25 中野敬司さん



会員選考・クラブ研修委員会担当「私の歩んだ道」 鈴木章介さん



昭和 11 年 11 月 11 日生まれで 81.8 歳、南部中学出身です。私自身、小さなときから運動神経に優れていたわけではありませんが、すべてに負けず嫌いの性格でした。高校のときに棒高跳びでどうしたら一番になれるかを考えました。人がやってないときにできる練習をするのが良いと思い、3 年間かかとをあげて歩きました。高校のときは小中から一緒だった同級生に協力を求め、毎日家まで迎えに行き自転車の後ろに乗ってもらってトレーニングをしました。甲斐あって高校 2 年の春、全国大会で 3 メートル 45 を跳び優勝しました。

こうなると次は追いつかれる立場です。もっとも練習しないと勝てない。3 時間目に昼飯を食い、4 時間目にベルがなったら、トレパンをはいて普段できない投擲練習をやりました。5 時間目はみなさんに迷惑をかけないように、いびきをかかないようにして寝ていました。

運動で一番になればどこにも行けるという確信がありました。大学はどうするかという時期になって、どうせやるなら早稲田にいったらやりたいと思っていたのですが、一向に早稲田が勧誘に来ません。

やっと 3 年の 1 月になって、早稲田を受験しないかと言われました。「お前大学いくなら英語はやらないといかん」とも言われました。でも浜商では 2 年までしか英語をやっていません。英語の先生から「練習終わってから勉強を見てやる」と言われたことが印象に残っています。この時習ったことはひとつも試験には出なかったですが。

早稲田の合格発表を見に行ったとき、自分の番号がのっていませんでした。早稲田のマネージャーからは

「きみは補欠入学」と言われました。「しっかり 4 年間授業に出て単位をとれば卒業生になれる」と言われました。

大学に入って、陸上競走部のリレーで、どうしたら速く走れるかみんなと一生懸命考えました。私は一番走るのが速い人と一緒に部屋になればよいかと思いました。寮長をお願いして一緒に部屋にしてもらい、朝起きるの、トイレ行くのも、ごはん食べるのも一緒に過ごしました。練習も同じようにしました。が 1、2 ヶ月たっても一向に早くならない。とにかく速く走れないと棒高跳びも高く飛べない。気がついたのは、陸上の練習は、同じスタートラインに並んでよーいどんと走り、50 メートル走ったら一緒にやめる。このゴールのときに一番の人を抜くくらいにフルスピードで走ろうとやりました。やっているうちに、差が縮まってきました。練習場だけでダメということだったので、腕振り 1000 回、腕立て 100 回、腹筋 100 回など毎日やりました。

卒業をして大昭和製紙(当時)に就職。その後、読売巨人軍から話がありました。川上さんが浜松にオープン戦で来たときに、大学の先輩である荒川博さん(王選手のコーチ)から、プロ野球のシーズンの初めと終わりに陸上競技のコーチを頼むと言われました。私がジャイアンツに入ってから、V9 が始まりました。

私自身はいままで自分の成績に対して誇りも自信もありますが、まずは健康が第一と考えています。81 歳になっても、夢があります。東京オリンピックの聖火ランナーをやりたい。みなさんも大きな夢をお持ちになって毎日少しずつ継続して行って成し遂げてください。